

白鳥の命名式を行いました

2019年11月14日に当館のシンボルの白鳥（オス）の命名式を行いました。
今回応募があったのは223通。当館の役員・職員による厳正な選考の結果、名前が決定いたしました。



命名パネルを命名者代表から館長へ

名前は「幸男（さちお）」で、つがいのメスの白鳥の幸子（さちこ）の「幸」と字を同じにし、国立京都国際会館を訪れるすべての皆様に幸があるようにと願いました。

たくさんの応募者の中から命名者に選ばれたのは、池永一広様（大阪）、内河裕信様（神奈川）、小崎唯司様（京都）、高梨美紗恵様（千葉）。

命名式では、命名者代表の池永様から名前が発表され、「幸子と愛いっぱい、幸せな家庭が営まれるように」と願いを込めて命名パネルが内田館長に手渡されました。内田館長から命名者に感謝状が贈られ、幸男と幸子と一緒に記念撮影を行いました。

